

ハードな環境に
優れた耐候性

DULT
1000

ダルト # 1000

JIS K 5659 上塗り塗料 3級
鋼構造物用耐候性塗料

 TOHPE CORPORATION



DULT #1000

優れた耐候性、耐薬品性でハードな環境に対応。



ダルト #1000 上塗
(社) 日本塗料工業界登録

登録番号 T01078
ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆
お問い合わせ先 <http://www.toryo.or.jp>



ダルト#1000は、優れた耐候性・耐薬品性を活かしたポリウレタン樹脂塗料です。橋梁・タンク・プラントなど厳しい環境下の多くの構造物に使用され、高い信頼をいただいています。

特長

1. 優れた耐候性を有しています。



Weather resistance

3. 作業性に優れています。

Good workability

速乾性で、しかも低温でも硬化しますので、冬期の塗装に支障をきたしません。
エアレス塗装はもとより、はけ塗り・ローラー塗りも可能です。
又 HS は厚膜性に優れています。

2. 耐薬品性・耐水性に優れています



Water and chemicals resistance

耐水・耐塩水性はもちろん、耐油・耐酸・耐アルカリ性にも優れ、耐薬品性塗料としても用いられます。

4. 美しい外観が得られます。

Beautiful look

優れた光沢と美しい仕上がりが得られます。

用途

橋梁、海上構造物、河川港湾設備、鋼矢板、大型鋼構造物、建屋内外面、送水鉄管外面、水門外面（非没水部）、タンク外面

荷姿

商品名	色相	荷姿
ダルト#1000 中塗 E	各色	18kg セット [A(主剤) : B(硬化剤) = 16 : 2]
ダルト#1000 上塗	各色	18kg セット [A(主剤) : B(硬化剤) = 15 : 3] 4.2kg セット [A(主剤) : B(硬化剤) = 3.5 : 0.7]
ダルト#1000HS	各色	17.5kg セット [A(主剤) : B(硬化剤) = 15 : 2.5]
トアウレタンシンナー#2000	—	16L、4L

標準塗装仕様例

1 厚膜型ジンクリッチペイント～エポキシ樹脂塗料～ポリウレタン樹脂塗料 適用箇所（一般外面・耐湿・耐薬品用・新設）

工程	塗料の一般名称	商品名	塗回数 (回)	膜厚 μm/回	塗付量 (kg/m ² /回) 塗装方法	塗装間隔 (時間) (23℃)
素地調整	プラスト処理 (ISO Sa 2 1/2 以上)					
一次プライマー	無機ジンクリッチプライマー	ガルヴァー#800	1	15	0.20 (スプレー)	48~6ヶ月
二次素地調整	プラスト処理 (ISO Sa 2 1/2 以上)					
下塗 1	有機ジンクリッチペイント	ガルヴァー#400HB	1	75	0.6 (スプレー)	24~6ヶ月
下塗 2	エポキシ樹脂塗料下塗	エピライト#1000 プライマー	2	60	0.20 (はけ)	24~3ヶ月
中塗	ポリウレタン樹脂塗料用中塗	ダルト#1000 中塗 E	1	30	0.14 (はけ)	24~1ヶ月
上塗	ポリウレタン樹脂塗料上塗	ダルト#1000 上塗	1	25	0.12 (はけ)	

2 ジンクリッチプライマー～変性エポキシ樹脂塗料～ポリウレタン樹脂塗料 適用箇所（一般外面・耐湿・耐薬品用・新設）

工程	塗料の一般名称	商品名	塗回数 (回)	膜厚 μm/回	塗付量 (kg/m ² /回) 塗装方法	塗装間隔 (時間) (23℃)
素地調整	プラスト処理 (ISO Sa 2 1/2 以上)					
一次プライマー	無機ジンクリッチプライマー	ガルヴァー#800	1	15	0.20 (スプレー)	48~6ヶ月
二次素地調整	損傷部・発錆部のパワーツール処理 (ISO St3 以上)					
補修塗	変性エポキシ樹脂塗料	タイトプライマー	[1]	[40]	0.16 (はけ)	24~1ヶ月
下塗	変性エポキシ樹脂塗料	タイトプライマー	2	40	0.16 (はけ)	24~1ヶ月
中塗	ポリウレタン樹脂塗料用中塗	ダルト#1000 中塗 E	1	30	0.14 (はけ)	24~1ヶ月
上塗	ポリウレタン樹脂塗料上塗	ダルト#1000 上塗	1	25	0.12 (はけ)	

3 変性エポキシ樹脂塗料～ポリウレタン樹脂塗料 適用箇所（一般外面・耐湿・耐薬品用・新設・塗替）

工程	塗料の一般名称	商品名	塗回数 (回)	膜厚 μm/回	塗付量 (kg/m ² /回) 塗装方法	塗装間隔 (時間) (23℃)
素地調整	2~3種ケレン					
補修塗	変性エポキシ樹脂塗料	タイトプライマー	[1]	[40]	0.16 (はけ)	24~1ヶ月
下塗	変性エポキシ樹脂塗料	タイトプライマー	2	40	0.16 (はけ)	24~1ヶ月
中塗	ポリウレタン樹脂塗料用中塗	ダルト#1000 中塗 E	1	30	0.14 (はけ)	24~1ヶ月
上塗	ポリウレタン樹脂塗料上塗	ダルト#1000 上塗	1	25	0.12 (はけ)	

4 エポキシ樹脂塗料～ポリウレタン樹脂塗料 適用箇所（非鉄金属材・新設・塗替）

工程	塗料の一般名称	商品名	塗回数 (回)	膜厚 μm/回	塗付量 (kg/m ² /回) 塗装方法	塗装間隔 (時間) (23℃)
素地調整	ペーパー掛け、ゴミ、ホコリ、油脂類はシンナー拭き（塗り替えの場合は3~4種ケレンとする）					
補修塗 ※1	エポキシ樹脂塗料	エピライト#1000CP	[1]	50	0.20 (はけ)	24~1ヶ月
下塗 ※2	エポキシ樹脂塗料	エピライト#1000CP	1	50	0.20 (はけ)	24~1ヶ月
中塗	ポリウレタン樹脂塗料用中塗	ダルト#1000 中塗 E	1	30	0.14 (はけ)	24~1ヶ月
上塗	ポリウレタン樹脂塗料上塗	ダルト#1000 上塗	1	25	0.12 (はけ)	

※1 補修塗りは塗り替え時のアルミニウム面露出部のみ ※2 下塗りは新設時のみに塗装してください。

塗装性状

項目	ダルト#1000 上塗 JIS K 5659 A種 上塗り塗料3級			ダルト#1000HS 厚膜型鋼構造物用ポリウレタン樹脂塗料			ダルト#1000 中塗 E JIS K 5659 A種 中塗り塗料			
	A(主剤):B(硬化剤)=5:1(重量比)			A(主剤):B(硬化剤)=6:1(重量比)			A(主剤):B(硬化剤)=8:1(重量比)			
混合方法	エアレス はけ			エアレス はけ			エアレス はけ			
標準膜厚(μm/回)	25			50			30			
塗付量(kg/m ² /回)	0.14	0.12		0.20	0.18		0.17	0.14		
希釈剤	トアウレタンシンナー #2000			トアウレタンシンナー #2000			トアエポキシシンナー #2000			
希釈率(%)	10~20	5~10		10~20	5~20		5~15	3~10		
乾燥時間(時間)	指触	5℃	23℃	30℃	5℃	23℃	30℃	5℃	23℃	30℃
	硬化	40分	30分	20分	40分	30分	20分	6	2	1.5
塗装時間(時間)	下限	8	5	4	16	8	6	16	8	6
	上限	-	-	-	-	-	-	2日	24	20
可使時間(時間)	-	-	-	-	-	-	-	30日	30日	30日
塗料密度(g/ml)	(白) 1.20			(白) 1.20			(白) 1.43			

試験成績表

JIS K 5659 : 2008 鋼構造物用耐水性塗料 上塗り塗料の試験項目より抜粋

試験項目	試験結果			※塗装系
	ダルト#1000 上塗		ダルト#1000HS	
鏡面光沢度(60度)	90	70以上	80	70以上
耐屈曲性	合格	折曲げに耐える		下塗 エピライト#1000 プライマー 60μm×1回
耐おもり落下性(デュボン式)	合格	塗膜に割れ及びはがれが生じない。		中塗 ダルト#1000 中塗 E 30μm×1回
耐アルカリ性	合格	異常がない。		上塗 ダルト#1000 上塗 25μm×1回
耐酸性	合格	異常がない。		ダルト#1000HS 50μm×1回
促進耐候性	合格	照射時間 500 時間の促進耐候性試験に耐える。		
屋外暴露耐候性※	合格	光沢保持率が 30% 以上で白亜化の等級が 3、2、1 又は 0。		

使用上の注意事項

1. 気温 5℃以下、湿度 85% 以上では塗装しないでください。
2. 塗装中又は塗装後、塗膜が乾燥する前に降雨、結露などが予想される場合は、塗装作業を中止してください。
3. A (主剤) と B (硬化剤) の混合は正確に行ってください。A (主剤) と B (硬化剤) の混合比が異なると、硬化不良等のトラブルを誘発する原因となりますのでご注意ください。なるべくセット単位で混合して、使い切ってください。
4. 硬化剤は活性が強いため、開封した後は出来るだけ早めに使用してください。
5. 硬化剤を開封した状態で放置すると活性が失われ硬化不良の原因になります。
6. 塗料の混合は十分に行ってください。混合が不十分の場合、硬化不良の原因になります。
7. 製品説明書に示された可使時間を厳守してください。
8. 塗り重ねを行う場合は、下塗り塗膜が十分に硬化していることを確認してから塗装してください。
9. ウレタン樹脂塗料の取り扱い基準により、注意して取り扱ってください。
10. 浮いたさび、浮いた塗膜、旧塗膜面のさび劣化部分などは完全に除去してください。
11. 塗装器具類の洗浄には、ラッカーシンナーなどの溶解性の高いシンナーで行うと、容易に洗浄できます。
12. 塗料の希釈にラッカーシンナーを用いないでください。硬化不良の原因になる恐れがあります。

安全衛生上の注意事項、その他の注意事項につきましては安全データシート (SDS) をご参照ください。



ホームページアドレス <http://www.tohpe.co.jp/>

	☎	FAX
本社 塗料相談室	592-8331 大阪府堺市西区築港新町一丁目5番地11	(072)243-6452 (072)243-6407
東京支店	110-0015 東京都台東区東上野六丁目16番10号 (KBUビル)	(03)3847-6441 (03)3847-6445
北海道営業所	061-1111 北海道北広島市北の里27番16号	(011)372-4511 (011)372-4429
仙台営業所	983-0004 仙台市宮城野区岡田西町1番66号	(022)288-9885 (022)288-9940
北関東営業所	306-0213 茨城県古河市北利根8番5号 (茨城工場内)	(0280)92-5951 (0280)92-0492
東京営業所	110-0015 東京都台東区東上野六丁目16番10号 (KBUビル)	(03)3847-6420 (03)3847-6475 (03)3847-6502 (03)3847-6467
北陸営業所	933-0251 富山県射水市有磯二丁目3番2	(0766)86-3581 (0766)86-3513
静岡営業所	422-8067 静岡県駿河区南町6番1号 (南町第1ビル)	(054)285-4351 (054)285-3875
名古屋営業所	460-0003 名古屋市中区錦一丁目18番24号 (HF伏見ビル7階)	(052)232-8230 (052)232-8232
大阪営業所	592-8331 堺市西区築港新町一丁目5番地11	(072)243-6421 (072)243-6425 (072)243-6431 (072)243-6428
中国営業所	713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島8252番地39	(086)526-1708 (086)526-1728
九州営業所	811-0117 福岡県糟屋郡新宮町大字上府字松尾1504番地の1	(092)962-1521 (092)962-4131
研究所	三 重 茨 城	

トウペ製造株式会社

	☎	FAX
三重事業所	519-1402 三重県伊賀市柘植町2700	(0595)45-4131 (0595)45-2081
茨城事業所	306-0213 茨城県古河市北利根8番5号	(0280)92-1571 (0280)92-1133
倉敷事業所	713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島8252番地39	(086)525-1821 (086)525-1239
九州事業所	811-0117 福岡県糟屋郡新宮町大字上府字北尾1561番地の16	(050)3000-8084 (092)962-1627

■取扱店

- このカタログの内容について詳しくお知りになりたい方は、お近くのトウペ取扱店におたずねになるか、当社にお問い合わせください。
- 仕様その他は改良のため予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。